

# イキイキふかや・よりのい

平成28年10月1日発行

深谷寄居医師会広報誌

この広報誌は、深谷市と寄居町の住民の皆様手に取っていただき、地域の医療や介護の手引きとして活用していただく事を目的に、深谷寄居医師会(旧深谷市・大里郡医師会)が発行しているものです。どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

## 休日診療所 こども夜間診療所が 移転しました。



### ご挨拶

深谷寄居医師会会長 緒方伸男

深谷市及び寄居町の住民の皆様、いつも「イキイキふかや・よりのい」をお読みいただきありがとうございます。この冊子の発行元である当医師会について簡単にご紹介させていただきます。当医師会は明治41年の設立で、深谷市と大里郡のエリアで活動してまいりましたが、平成の大合併で大里郡の一部の町村が熊谷市に、また一部が深谷市に合併になり、大里郡は寄居町だけになってしまったため、医師会館と休日診療所の移転に併せて「深谷市・大里郡医師会」から「深谷寄居医師会」に改称いたしました。本年7月現在、当医師会の会員数は175名で、主に病院や医院・クリニックの開設者(院長・理事長)やそれらの医療機関や介護施設(老人保健施設)に勤める医師で構成されています。

医師会の活動の目的や事業内容に関しては是非当医師会のホームページをご覧くださいと思いますが、最も重要な目的は住民の健康を守ることにありと考えて活動しています。そのために行政や保健所等と協力し、また病院や医院間の連携を図るよう努力しています。但し、個々の医療機関の診療内容を監視したり指導するような立場にはないことはご理解いただきたいと思います。また医師会の附属施設として健診検査センターであるメ

ディカルセンター(来夏新築移転予定)と介護老人保健施設FOMA・なごみを運営しています。健診や介護保険などでご不明なことがあれば何なりとご相談ください。休日診療所とこども夜間診療所も深谷市と寄居町のご協力をいただきながら、日曜祭日の日中夜間(日中は大人・子供、夜間は子供のみ)と土曜日の夜間(子供のみ)に軽症の患者さんを、かかりつけやお近くの医療機関に受診できるまでの間に体調が悪化しないように、医師会員や看護師・薬剤師が交代で出勤して診療しています。検査や重篤な患者さんの治療及び高血圧症などの慢性疾患の治療は出来ませんのでご了承ください。

埼玉県の人口当たりの医師数は全国最低であることはご存じのことと思いますが、ホームページにも書かせていただきましたように、特に県北地域の医師不足・看護師不足は深刻な状況です。その中でも特に救急の患者さんを受け入れる病院が少なく、夜間など県南や県外に救急搬送される患者さんも少なくありません。是非皆様には日頃の健康管理と、体調不良時の診療時間内の早期受診にご協力いただきたいと思います。住民の皆様のご理解のもと地域の医療をより良いものにしていくため、引き続き努力していきたいと思っております。

# 「深谷寄居医師会 休日診療所こども夜間診療所」移転のお知らせ



このたび休日診療所が移転しました。今までの深谷市常盤町の深谷第一高校の北側から、深谷市国済寺（桜ヶ丘病院の東側）になります。移転とともに名称も「深谷寄居医師会休日診療所こども夜間診療所」に変更しました。

休日診療は年間70日行われ、1年間で約5,600人の方が受診をされており、こども夜間診療は年間120日で約1,740人の方が受診をされています。

休日診療所は深谷寄居医師会の先生たちの協力で運営され、第1次（初期）救急医療を担当し、地域医療の一部を担っております。ちなみに日本における救急医療の体制は重症度に応じ第1次（初期）、第2次、第3次救急医療の3段階体制に分かれており、休日診療所は前述の通りに内科と小児科の第1次救急医療を行います。採血レントゲン等の検査を施行しておらず、外傷や骨折等の外科系の診療はしていませんので御留意下さい。



	対象	症状例	この地域の受入施設
第1次救急	入院の必要がなく外来で対処可能な軽症な方	風邪による高熱や腹痛等	深谷寄居医師会 休日診療所こども夜間診療所
第2次救急	入院加療や手術を必要とする重症な方	肺炎の治療、虫垂炎の手術など	病院の輪番制で行なわれ、当地区では佐々木病院、深谷中央病院、埼玉よりい病院
第3次救急	2次救急まででは対応できない一刻を争う重篤な方	心筋梗塞や脳卒中等	深谷赤十字病院

新休日診療所は以前より待合室も明るく広くなり、受付等も分かりやすくなりました。益々深谷市寄居町の皆様方のお役にたてればと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。



待合室



診察室



受付

## 診療時間

### 休日診療所

日曜・祝祭日および12月31日～1月3日

9:00～12:00(受付は11:30まで)  
14:00～17:00(受付は16:30まで)

### こども夜間診療所

土曜・日曜・祝祭日および12月31日～1月3日

19:00～22:00(受付は21:30まで)

**TEL 048-573-7723**

## 医師会について

医師会とはどんな組織で、どんな活動を行っているのかを簡単に紹介します。

医師会は、日本医師会、都道府県医師会、郡市区等医師会の三層構造になっています。医師会は医療という公的サービスを支える組織として三層構造のネットワークでそれぞれが役割分担しています。ただし、「日本医師会」「都道府県医師会」「郡市区等医師会」はそれぞれが独立した組織です。

医師会活動の基本には、「国民の生涯にわたる健康で文化的な明るい生活を支える」という理念があります。簡単に言えば、医師という現場の担い手として、国民の健康や医療提供体制を守るために活動しています。そのために、地域医療の最前線になる郡市区等医師会では、市区町村と協力しながら、学校健診や乳幼児健診、健康診断、予防接種、救急医療体制の充実、休日夜間診療体制の構築などを行っております。

さて、当医師会は、明治41年(1908年)「大里郡医師会」として発足しました。その後、昭和18年「埼玉県医師会大里支部」、昭和22年「大里郡医師会」、昭和33年「大里郡市医師会」、平成5年「深谷市・大里郡医師会」へ改名した後、このたび平成28年7月1日付けで「深谷寄居医師会」に変更しました。また、9月1日付けで主たる事務所を深谷市国済寺へ移転しました。

主な事業として、休日夜間診療を行う「休日診療所こども夜間診療所」、健康診断・人間ドック・血液検査等を行う「メディカルセンター」、介護保険関連事業を行う「介護老人保健施設FOMA・なごみ」「在宅介護支援センターFOMA・なごみ」「大里広域地域包括支援センター医師会なごみ」、医療と介護の連携拠点としての「深谷寄居在宅医療連携室」を運営しています。

わたしたちは、地域住民の健康と医療に最も近いところで活動しています。

# 深谷市・大里郡医師会メチカルセンターは 「深谷寄居医師会メディカルセンター」へ そして2017年8月(予定)より上柴町へ 移転します。



完成イメージ図

この度、今まで親しんでいた「メチカルセンター」から「メディカルセンター」に名称を変更しました。

当センターは、確かな技術と情報の提供こそが使命と考え、精度管理の向上はもとより、技術の研鑽、知識の習得に努めるとともに、診療支援のIT化推進などサービスの向上を日々目指しております。

今は、予防医学の時代と言われています。健診や生活習慣の改善により疾病の早期発見と予防が求められております。これからも、医師会立の健診検査センターとして、職域・地域の人々の健康増進に取り組んでまいります。

また、当センターは平成29年8月に深谷市常盤町から深谷市上柴町西へ新築移転する予定です。

今年度導入した上部消化管内視鏡検査に加えてCT装置も導入し、各種人間ドックや職域健診等の希望オプションに対応できる設備や体制を整え、皆様の健康管理のお役に立てるようにと考えております。「明るく安心して受診しやすい、そして女性に優しい」健診検査センターを目指し、一層の努力を重ねていく所存です。今後ともご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## For your Life

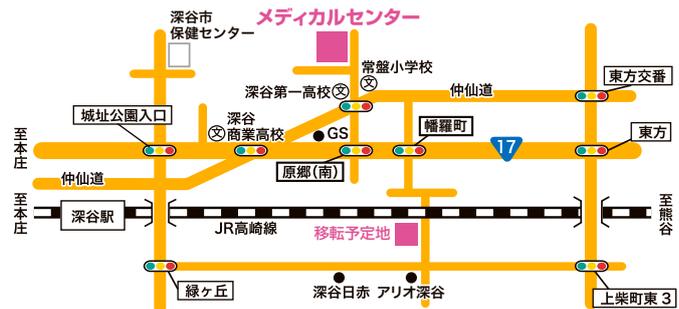
輝く未来のために…  
人間ドック、健診を受けましょう。

## 深谷寄居医師会 メディカルセンター

〒366-0034 埼玉県深谷市常盤町62-2

**TEL 048-572-2411**

<http://www.fukaya-osato.saitama.med.or.jp>



### 患者さんのご質問やご意見募集

深谷寄居医師会広報委員会では患者さんからの医療に関する質問やご意見を随時募集しております。かかりつけ医師にお話しいただくか、医師会事務局まで電話かFAXをして下さい。本広報誌に可能な限り答えと共に掲載させていただきますが、掲載の採否は当委員会にお任せ下さい。掲載分には粗品を進呈させていただきます。

医師会事務局 電話048-573-7724 FAX048-573-0948



深谷寄居医師会

**イキイキふかや・よりの** 第9号

平成28年10月1日発行

発行：深谷寄居医師会 広報委員会

〒366-0033 深谷市国済寺319-3

☎048-573-7724

ホームページ <http://fukaya-osato.saitama.med.or.jp/>